

令和3年度 事業報告

1. 協会業務の充実

- 1) 発注者支援業務等からの計画的撤退後5年目となり、昨年度に引き続き、民間からの受託事業のほか事業監理業務PPP等の業務にも積極的に取り組んだ。
- 2) 「公益目的支出計画」の9年目として、土木学会が行っている土木広報大賞2021の最優秀賞を受賞した四国防災八十八話の普及啓発活動や讃岐ジオパークの指定に向けた活動、関連する一連の取組において令和3年度防災まちづくり大賞の消防庁長官賞などを受賞した南海トラフ巨大地震に備えるための講演会を行うなど、四国のニーズに即した事業を推進した。
- 3) 「四国道の駅連絡会」の事務局として、四国内の道の駅の活性化や防災機能強化のための支援を行った。
- 4) 「SDGs」「働き方改革」などを意識しつつ、業務内容にふさわしい処遇や労働条件を実現するとともに、前年度に引き続き、リモート業務環境を活用するなど適正で効率的な職場環境を確保した。
- 5) 多様化する業務に対応するとともに、組織の活力向上のため、若年層の技術者の技術力習得のための研修、現場配置等を実施した。

2. 会議

- 1) 定時総会の開催
- 2) 理事会の開催
- 3) 公益事業委員会等各種委員会等の開催

3. 令和3年度事業報告

I 公益事業

1) 防災に関する事業

- ①防災エキスパートによる水防団等への水防技術講習会等を実施。
- ②愛媛大学等と連携し、南海トラフ巨大地震に備えるための、国土強靱化地域計画と復興デザインのための講演会を開催。
- ③地方自治体、土木学会等各種団体と連携した防災行事や講習会、研修会に参加、協賛、支援。

2) 技術開発および調査研究に関する事業

- ①徳島大学と連携し四国防災八十八話の普及活動を行うとともに、香川大学と連携し讃岐ジオパークの指定に向けた取り組みを行った。
- ②四国のインフラ整備の経緯、変遷をとりまとめた「四国社会資本アーカイブス」のフォローアップ作業を継続。
- ③四国内の大学、高専およびその共同研究を対象とした建設技術の開発・調査研究に関する助成事

業を継続。

3) 研究会、講習会に関する事業

- ①徳島市で開催された建設フェア2021への支援。
- ②「四国災害アーカイブス」のフォローアップを実施。

4) 広報活動に関する事業

- ①「吉野川ガイドブック」の発行など、河川・道路等の重要性、愛護、利用に関する啓発活動へ支援。

5) 地域活性化に関する事業

- ①「四国八十八景&道の駅合同プロジェクト」をはじめ、地域住民の参加による地域の活性化や地域連携の醸成がはかられる事業への支援。

II 収益事業

- 1) 民間からの受託業務である「第三者品質証明事業」等の実施。
- 2) 各地で展開される事業監理業務 (PPP)、用地関係業務等の実施。
- 3) 民間事業者への労働者派遣業務等の実施。
- 4) 民間が発注する建設関係各種技術業務の実施。
- 5) 各種団体等への不動産賃貸事業
- 6) 図書販売業務
- 7) 各種試験事務受託
- 8) 保険代理補助業務

III その他

- 1) 外部監査、役員 (監事) による内部監査
- 2) 会報「クリエイト」の発刊
- 3) CSRレポートの作成

(注記)

事業報告附属明細書は記載すべき特別な明細事項がないため記載を省略した。